

日本てんかん学会 学会功労賞受賞者

第一回 (2010年)	大田原俊輔、福山幸夫、JUN A. WADA、
第二回 (2011年)	田中達也、真柳佳昭、八木和一
第三回 (2012年)	佐藤光源、満留昭久、山内俊雄
第四回 (2013年)	加藤元博、兼子 直、鶴 紀子
第五回 (2014年)	飯沼一字、辻 貞俊、堀 智勝、渡邊一功、
第六回 (2015年)	亀山茂樹、黒川 徹、細川 清、三原忠紘、
第七回 (2016年)	大塚頌子、大沼悌一、馬場啓至
第八回 (2017年)	清水弘之、松浦雅人、山口成良
第九回 (2018年)	大澤真木子、森 昭胤、渡辺雅子
第十回 (2019年)	井上有史、大槻泰介、小国弘量
第十一回 (2020年)	加藤天美、須貝研司、星田 徹
第十二回 (2021年)	森岡隆人、山本 仁、渡辺英寿

五十音順、敬称略

日本てんかん学会功労賞 とは

目的：日本てんかん学会における、

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) てんかんの医療や福祉活動. | (3) てんかんの社会活動. |
| (2) てんかんの教育活動. | (4) その他の領域での活動. |

を通じて著しい功績が認められた学会員に対し、毎年表彰し栄誉をたたえる。

選考時に日本てんかん学会の正会員または名誉会員であること。

年齢や経歴などは問わない。